

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	19週	18週	第19週		第18週		第19週		第18週		第19週		第18週		第19週		第18週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	143	256	16	19	15	0	12	7	6	0	0	0	1	0	4	12	8	0
咽頭結膜熱	33	11	4	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
A群溶血性球菌咽頭炎	116	71	16	0	9	0	9	0	0	0	3	0	0	0	4	0	9	0
感染性胃腸炎	209	67	42	9	2	0	39	4	2	0	0	0	0	0	3	5	0	0
水痘	16	20	1	10	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	1	4	0	0
手足口病	13	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	51	14	10	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	32	10	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	3	4	3	3	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	1	0	0
RSウイルス感染症	14	22	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	18	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

流行中	現在、伝染性紅斑の流行が見られています。
小流行中	現在、インフルエンザ・A群溶血性球菌咽頭炎の小流行が続いています。

修飾麻しんって知ってますか？

○修飾麻しんとは・・・

- 麻しんに対する免疫は持っているけれども不十分な人が麻しんウイルスに感染した場合、軽症で非典型的な麻しんを発症することがあります。このような場合を「修飾麻しん」と呼んでいます。
- 麻しんの典型的な症状が出現しないため、風しんなど他の疾患と診断されることもあります。
例) ・高熱が出ない、発熱期間が短い
・コプリック斑が出現しない
・発疹が手足だけで全身に出ない 等
- 症状は軽症ですが、周囲への感染源力はあるため、注意が必要です。

○麻しんワクチンはなぜ2回接種なの？

1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(数%存在すると考えられています)に免疫を与えます。また、免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともに、その免疫が減衰した子どもたちに再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。麻しんワクチンを2回接種することで、予防接種による免疫獲得をより確実なものにします。

○どんなひとが修飾麻しんになるの？

以前は母体由来の移行抗体が残存している乳児や、ヒトガンマグロブリン製剤を投与された後に見られていました。最近では麻しんワクチン接種者がその後、麻しんウイルスに暴露せずに免疫増強効果が得られないまま体内で麻しん抗体が減衰し麻しんに罹患する場合があります。1回の麻しんワクチン接種で免疫がつかなかった者は5%未満と少なく、ワクチン接種後に自然感染での免疫増強効果が受けられなかったことにより、免疫が減衰し、麻しんウイルスに暴露されたときに修飾麻しんとして発症する者は、10~20%程度と推定されています。

